

航空機搭載レーザプロファイラがとらえた

国会議事堂周辺・陰影図（2）

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

データ収集：朝日航洋（株）

前掲の陰影図を3次元表示（鳥瞰図）してみました。画像手前南から北を眺望した映像です。霞ヶ関ビル（高さ147m）や山王パークタワー（高さ194m）をみると、朝8：00に日が当たっている壁面は、昼12：00には陰の領域に入ることが判ります。このようなビル壁面等への日照状況の違いを利用することによって、ヒートアイランド現象等の分析に活用できる可能性があります。時間帯別の日照状況の変化から様々な情報を判読してみてください。都市の環境分析、景観評価、防災計画策定支援等、レーザプロファイラデータの活用場が広がるものと期待されています。

